



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 プリマハム株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2281 URL <http://www.primaham.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松井 鉄也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役第一管理本部長 (氏名)前田 茂樹 (TEL)03(6386)1800
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	67,016	11.8	2,051	70.7	2,444	79.3	1,473	197.5
23年3月期第1四半期	59,938	△7.1	1,201	3.2	1,363	3.9	495	△18.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,789百万円(223.9%) 23年3月期第1四半期 552百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	6	58	—	—
23年3月期第1四半期	2	21	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	100,330	27.6	33,202	27.6	—	—
23年3月期	97,682	27.3	31,960	27.3	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 27,695百万円 23年3月期 26,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00	—
24年3月期	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	126,000	1.9	2,800	△8.9	2,700	△15.8	1,200	△14.8	5	36
通期	258,000	2.8	5,200	△23.2	5,100	△27.2	2,500	△21.8	11	17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	224,392,998株	23年3月期	224,392,998株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	560,983株	23年3月期	559,012株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期1Q	223,832,729株	23年3月期1Q	223,887,002株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、景気が緩やかに回復してきたものの、平成23年3月に発生した東日本大震災による甚大な被害、さらにその後の電力不足や放射性物質の影響が消費者心理に様々な変化を及ぼし、個人消費が停滞するなど先行き不透明な状況で推移しました。当業界におきましても消費者の低価格志向による販売価格の下落や、原材料価格の高騰などにより事業環境はきわめて厳しいものとなりました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、諸施策に取り組み収益の確保に努めました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、売上高は670億16百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は20億51百万円（同70.7%増）、経常利益は24億44百万円（同79.3%増）、第1四半期純利益は14億73百万円（同197.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<食肉事業本部>

食肉事業本部においては、東日本大震災以降食肉消費が低迷し、さらにイベント自粛などで高価格商品の売れ行きが不振となり低価格商品中心のマーケット展開となりました。このような状況のなか、当社グループは震災応援セールやオリジナルブランド商品の売り場提案などを行い拡販に努めた結果、売上高は221億49百万円（前年同期比4.2%増）となり、セグメント利益は5億23百万円（同262.0%増）となりました。

<加工食品事業本部>

(ハム・ソーセージ部門)

ハム・ソーセージ部門においては、東日本大震災以降大きく市場が変化していくなか、主力商品の「香薫ウインナー」連タイプのロースハム・ベーコンに加え新商品の「味わい造りウインナー」などの拡販を進めシェアアップに努めました。また、お客様のさまざまな要望に応える商品や利便性を考えた商品の拡販にも努めました。

(加工食品部門)

加工食品部門におきましては、個人消費の変化に加え原料価格の高騰など厳しい市場環境が続くなか、お客様のニーズに応えるべく商品を開発・発売し、ハンバーグやから揚げなどの拡販に努めました。

以上の結果、加工食品事業本部（ハムソーセージ部門及び加工食品部門）においては、消費者の低価格志向及び同業他社との競争激化という厳しい環境ではありましたが、売上高は447億70百万円（前年同期比16.1%増）となり、セグメント利益は15億14百万円（同54.8%増）となりました。

<その他>

その他事業の売上高は96百万円となり、セグメント利益は12百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億6,480百万円増加の1,003億300百万円となりました。これは主に、季節変動により売上債権が1億7,590百万円、棚卸資産が1億4,900百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

負債については、前連結会計年度末に比べて1億4,500百万円増加の6億7,128百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が3億4,520百万円増加した一方、短期借入金が1億3,570百万円減少し、退職給付引当金が4億1,700百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて、剰余金の増加により1億2,420百万円増加し、3億3,200百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて1億5,950百万円減少し9億5,200百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純利益2億3,870百万円の計上と減価償却費9億8,600百万円の計上により営業活動における資金は1億9,520百万円増加しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

生産設備更新および生産性向上、品質安定のため1億5,800百万円の有形固定資産を取得したことにより投資活動による資金は1億3,540百万円減少しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

長期借入金10億円の調達があったものの、短期借入金1億3,620百万円、長期借入金1億2,600百万円の各々返済および配当金3億5,900百万円の支払により財務活動における資金は2億700百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成23年5月13日より変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度の変更等)

①連結子会社の事業年度の変更

従来、子会社の決算日と連結決算日が3か月を超えないことにより、各子会社の正規の決算を基礎として連結決算を行っていた会社において、当期より決算期を3月31日に統一したことに伴い、当該各子会社については、当第1四半期連結会計期間より6月30日までの個別財務諸表を連結しております。

②連結子会社の仮決算方式への変更

一部の子会社については、当第1四半期連結会計期間より、6月30日において仮決算を行っております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,354	9,728
受取手形及び売掛金	22,775	24,535
商品及び製品	8,206	9,965
仕掛品	336	340
原材料及び貯蔵品	898	1,084
その他	3,535	3,571
貸倒引当金	△42	△20
流動資産合計	47,065	49,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,031	16,745
土地	18,639	18,541
その他（純額）	7,998	8,905
有形固定資産合計	43,670	44,192
無形固定資産		
無形固定資産	567	573
投資その他の資産		
投資有価証券	4,082	4,071
その他	2,408	2,401
貸倒引当金	△110	△114
投資その他の資産合計	6,380	6,359
固定資産合計	50,617	51,125
資産合計	97,682	100,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,344	27,797
短期借入金	6,455	5,098
1年内返済予定の長期借入金	3,472	3,702
未払法人税等	760	688
賞与引当金	991	591
役員賞与引当金	30	—
資産除去債務	18	—
その他	7,692	7,876
流動負債合計	43,765	45,754
固定負債		
社債	210	167
長期借入金	12,061	11,805
退職給付引当金	4,806	4,389
役員退職慰労引当金	132	—
資産除去債務	84	84
その他	4,662	4,926
固定負債合計	21,957	21,373
負債合計	65,722	67,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,363	3,363
資本剰余金	3,964	3,964
利益剰余金	17,111	18,105
自己株式	△61	△62
株主資本合計	24,377	25,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443	434
繰延ヘッジ損益	△3	△5
土地再評価差額金	2,169	2,169
為替換算調整勘定	△295	△275
その他の包括利益累計額合計	2,314	2,324
少数株主持分	5,268	5,507
純資産合計	31,960	33,202
負債純資産合計	97,682	100,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	59,938	67,016
売上原価	49,437	55,350
売上総利益	10,501	11,665
販売費及び一般管理費	9,299	9,614
営業利益	1,201	2,051
営業外収益		
受取利息及び配当金	51	49
持分法による投資利益	41	41
事業分量配当金	—	104
その他	199	316
営業外収益合計	292	511
営業外費用		
支払利息	112	87
その他	18	31
営業外費用合計	130	118
経常利益	1,363	2,444
特別利益		
投資有価証券売却益	8	—
その他	3	4
特別利益合計	12	4
特別損失		
固定資産除却損	70	14
和解金	—	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	74	—
その他	23	29
特別損失合計	168	61
税金等調整前四半期純利益	1,207	2,387
法人税等	523	617
少数株主損益調整前四半期純利益	683	1,769
少数株主利益	187	296
四半期純利益	495	1,473

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	683	1,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	△10
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	45	32
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△130	20
四半期包括利益	552	1,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345	1,483
少数株主に係る四半期包括利益	207	306

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,207	2,387
減価償却費	907	986
減損損失	—	7
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△18
賞与引当金の増減額(△は減少)	△200	△399
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△266	△417
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△68	30
受取利息及び受取配当金	△51	△49
支払利息	112	87
投資有価証券売却損益(△は益)	△8	10
持分法による投資損益(△は益)	△41	△41
有形固定資産売却損益(△は益)	—	4
有形固定資産除却損	70	14
売上債権の増減額(△は増加)	△698	△1,759
その他の流動資産の増減額(△は増加)	343	△128
たな卸資産の増減額(△は増加)	174	△1,949
仕入債務の増減額(△は減少)	1,321	3,452
その他の流動負債の増減額(△は減少)	269	376
未払消費税等の増減額(△は減少)	△85	36
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	74	△18
その他	—	13
小計	3,059	2,630
利息及び配当金の受取額	62	61
利息の支払額	△124	△101
法人税等の支払額	△1,320	△637
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,677	1,952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△884	△1,558
有形固定資産の売却による収入	0	139
無形固定資産の取得による支出	△83	△63
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
投資有価証券の売却による収入	10	—
貸付けによる支出	△340	△18
貸付金の回収による収入	21	74
敷金の差入による支出	△9	△8
敷金の回収による収入	21	19
定期預金の増減額(△は増加)	△126	30
長期前払費用の取得による支出	△111	△14
関係会社株式の売却による収入	—	25
その他	25	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,484	△1,354

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△147	△1,362
リース債務の返済による支出	△44	△166
長期借入れによる収入	200	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,693	△1,026
社債の償還による支出	△83	△104
割賦債務の返済による支出	△113	△120
配当金の支払額	△344	△359
少数株主への配当金の支払額	△67	△67
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,294	△2,207
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,070	△1,595
現金及び現金同等物の期首残高	10,714	11,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,644	9,502

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益書計上 額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対 する売上高	21,266	38,573	59,839	99	59,938	—	59,938
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,827	9	5,837	16	5,853	△5,853	—
計	27,093	38,583	65,676	115	65,792	△5,853	59,938
セグメント利益	144	978	1,123	80	1,204	△2	1,201

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益書計上 額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対 する売上高	22,149	44,770	66,920	96	67,016	—	67,016
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,309	9	6,318	9	6,327	△6,327	—
計	28,458	44,779	73,238	106	73,344	△6,327	67,016
セグメント利益	523	1,514	2,038	12	2,050	0	2,051

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。